



主に公津地区で活動するコミュニティの祭典！もりんぴあフェスティバル

9月に入ってから真夏日が続く中、暑さが少し和らいだ9月23日、秋分の日の振替休日の月曜日開催となった『もりんぴあフェスティバル』。コロナ禍で休止後2回目、開館からは9回目を数えました。

過ごしやすい陽気だったので、絶好のお出かけ日和となり、入口延べ人数で6,847人の方にご来場いただき、9回のもりんぴあフェスティバルの中で2番目に多い来場者数となりました。

1階ロビーでの発表15団体、2階ホールでの演奏11団体、2階ギャラリーでの展示7団体、マルシェ11団体、イベント3団体の計47団体が出演、出展、出店しました。団体数も昨年より増えており、すっかりコロナ禍前のもりんぴあフェスティバルが戻りつつあるように感じます。

9時45分から行われた開会式では、小林順子実行委員長、小泉一成市長、もりんぴあこうづ竹尾館長の挨拶のあと、応援にかけつけてくれた『うなりくん』『もりもりくん、もりもりちゃん』の紹介が行われました。その後、公津の杜中学校吹奏楽部生徒さんによる開会宣言、ファンファーレによりフェスティバルの幕が華々しくあけました。

各会場と各ブースは活気と熱気、そして笑顔で溢れており、それがまるで連鎖しているかのように建物全体を包んでいました。その雰囲気を守るかのように事故、怪我などなくスムーズに進行していきました。

クイズラリー抽選会の最後にくす玉を割って発表されたのは、「もりんぴあこうづ来館者200万人達成！」でした。2013年7月1日の開館以降、2018年9月に100万人達成を経て、今回8月に200万人となりました。次の目標は300万人。コロナ禍で休館期間を挟んでいるので、およそ5年ペースで100万人を達成しています。よりはやく達成できるように、快適な施設づくり、安定した事業開催を目指して運営してまいります。

地域のイベント、行事、お祭りが様々な理由からなくなっている昨今、ここまで多くの方々にご来場、参加して頂けたのは、嬉しく思うとともに、引き続き開催できるように努めていかなければならないという決意が生まれました。(K)



▲開会式で小林実行委員長の挨拶



▲小泉市長に開会式でご挨拶して頂きました



▲うなりくんもお買い物？

サロン特設ステージ

出演団体

公津の杜中学校 吹奏楽部
 成田市杜の少年少女合唱団
 もりんぴあ合唱部
 Luana Hula School
 アルマーザ
 アロハ・ティアレ・オ・クラクラ
 Halau Ha' ahulanahenahe
 Mohala Pua
 marica japan
 フラサークル メリア
 空手道無限勇進会
 Halau 'O Nanea
 ナターリアベリーダンス
 SPACE BUNNY
 クリエイティブバレエ



▲当館主催事業の成田市杜の少年少女合唱団の発表。
 毎月第1・第3土曜日に練習を行っており、
 団員は随時募集している



▲第2金曜日に練習を行っているもりんぴあ合唱部。少し緊張した面持ちながらも日頃の練習の成果を発揮した

1F サロンの特設ステージでは、公津の杜中学校 吹奏楽部の開会式ファンファーレと演奏、当施設主催事業の「成田市杜の少年少女合唱団」と「もりんぴあ合唱部」による合唱、フラダンス、古典フラ、ベリーダンス、ヒップホップダンス・空手の演武・バレエなど13団体による発表が行われました。

昨年度同様にもりんぴあこうづを日頃からご利用いただいているサークルの方々にご参加いただき、日ごろの活動成果を発揮する事ができたのではないのでしょうか。

昨年に比べて、参加団体数、来場者数共に増加しており、1F サロン観客席も満席状態が続き、見応えのある「もりんぴあフェスティバル」を開催する事ができました。

来年度も、より良い「もりんぴあフェスティバル」を開催できるように準備してまいります。(A)

MORI×MORI ホール



出演団体

ビューティティアンドビースト
ラブレ
シニア・アロハ・サウンズ
ともろーぞ
Fifty-Fifty
Nico Star
Slowk
ラウレア・ハワイアンウクレレ
15-FIELDS
Captain Cloud
ジョン・Bom・Miss



▲ウクレレ演奏のハワイアンミュージックでは、フラダンスサークルとのコラボもありました

MORI×MORI ホールでは、昨年の 8 団体から 3 団体増えて 11 団体が演奏を行いました。団体が増えたことにより、それぞれの出演時間の間隔が短くなり、セッティング時間が慌たしくなりました。ただ大きなトラブルもなく、ほぼ時間通りに進行しました。

11 団体のうち、6 団体が昨年に引き続きの出演となり、1 年間の練習が実を結んでいるとうかがえます。また 4 団体は久しぶりの出演となり、コロナ禍以降も活動を継続・再開されていたことが嬉しく思います。そして 1 団体が初出演となり、しかも二胡という珍しい楽器で「涙そうそう」となりのトロロ」など耳馴染みのある曲を披露してくれました。

音量の問題、密閉された場所という問題から、なかなかホールの中に入ってもらえず、他の目的で来場された方へのアピールができない状況です。会場めぐりクイズの出題場所として一時的に入場してもらえるものの、問題・答えがわかると背を向けられてしまうのは、ここ数回の課題としてあります。クイズラリー以外にも何か聞いてもらえる手段を 1 年間かけて考えなければと強く決意を固めました。(K)



▲人気ロックバンドのコピーバンド。激しいサウンドながらも美しいメロディを奏でました。

ギャラリー MORI×MORI

出 展 団 体

もりんぴあ己書

るりのほし

仮名書道研究会

青穂会

裕成会

GRIT HUMAN LABO

公津の杜なかよしひろば



▲ 作品を眺める来場者。目をひく作品ばかりで思わず立ち止まってしまう。



▲ 公津の杜なかよしひろばの体験ブースでは工作体験が行われた



▲ 当施設講座からサークルが誕生した己書のブース。心のままに書けましたでしょうか？

2階のギャラリーMORI×MORIでは、9月15日(日)から今年も一足早く、『もりんぴあフェスティバル作品展』を開催し、もりんぴあで日頃から活動されている7つのサークルや団体の作品が展示されました。

主に書作品が多かったのですが、『書』と一口で言っても様々で、絵を描くように世界観を表現する己書、繊細で美しく流れるような仮名書道、子どもたちの練習の成果が見られる力強い作品や、キラリと感性の光る魅力的な作品など、とても興味深く、いろいろな書を楽しませていただきました。昨年、初出展だった子どもたちのアート作品も、よりパワーアップしており、会場をより一層やさしく彩ってくれました。作品を背にポーズを決めながらも、ちょっぴりはにかみながら写真に納まる姿もチラホラ見られ、とても微笑ましかったです。もりんぴあ1階にある、なかよしひろばの出展ブースでは作品展示のほかに、ロゼットづくり等の体験教室もあり、たくさんの親子連れで賑わっていました。(G)

マルシェ



出店団体

Circulo Hispano de Narita
レモネードスタンドnico
NPO法人子供らと歩む親の会
杜の風
台方ラーメン
北須賀直売所まこも
ル・シャキバル
おいしいコーヒーといい時間
サカタنز
公津の杜小学校PTA
成田市立図書館公津の杜分館



マルシェではメインエントランス横で6団体、2階回廊で5団体の11団体と昨年度より新規の出店が2団体増え2階回廊が賑やかになりました。9月に入っても真夏日が続き、熱中症の心配もありましたが、前日の雨も上がり当日は25度前後の過ごしやすいお天気で、どのお店も大盛況。アイスやかき氷、レモネード、チュロス、わたあめ、ポテトフライ、フランク、やきそば、ロコモコ丼、混ぜご飯など充実したメニューに迷っている方がたくさん。椅子と机を設置した飲食コーナーは常に満席でたくさんの笑顔があふれていました。野菜の販売も大好評でした。どこも大変な賑わいで、早く売り切れてしまい嬉しい悲鳴が聞こえました。2階では、コーヒー、手芸品の販売。体験やゲームコーナーにはたくさんの子供が集まり、キラキラした目で挑戦していました。市立図書館ブースでは、役目を終えた本が無償で提供されました。たくさんの笑顔が集まった一日になりました。(N)



イベント・講座



2階の成田航空少年団のブースでは飛行機模型の展示の他、フライトシミュレーターの体験が行われていました。小さなお友達のためのぬり絵などもあり、誰もが楽しめる工夫でいっぱいでした。フラワーサークル・フィオレンテの会場は工夫のあるディスプレイで、とても華やかでした。



3階でも、びっくり箱づくりや、親子で参加のウイナーの飾り切り教室、将棋大会など体験型のイベントがたくさん行われました。普段はダンスの練習などで使われているスタジオ2にはドーム型のプラネタリウム(星たまご)を設置し、秋の夜空を星の専門家の先生に解説していただいたり、星のクイズにチャレンジしたり。壊れたおもちゃを診察してくださる『おもちゃクリニック』の先生方もいらしてくださいました。英語によるスピーチは今年初めて3階のオープンスペースで行われ、なかなか新鮮味がありました。また、恒例のチャレンジランキングや将棋大会も開催され、より一層の賑わいをみせていました。(G)

実行委員・ボランティア



7月15日(月・祝)にもりんぴあフェスティバルの出演・出展・出店希望者からなる『もりんぴあフェスティバル実行委員会』が行われ、34団体47名が参加しました。

実行委員長の挨拶のあと、開催概要の説明や実行委員ボランティアについての説明、各団体の自己紹介が行われました。



その後、部門ごとに分かれて部門の諸注意、出演順の決定などタイムスケジュール、レイアウトが決定。出演順の割り振りでは、一部希望が重なり抽選が行われました。この実行委員会の開催により、事務局の本格的な準備が開始されました。

もりんぴあフェスティバル実行委員会には、出演者、出展者、出店者、ボランティア、公津の杜コミュニティセンター職員から成っています。

小学生ボランティアは、来場者にパンフレットを配布したり、来場者の数をカウントしていただきました。

毎月第1木曜日に活動しているグリ

ーンボランティアの方々には、100円募金するともらえる花苗の袋詰めと配布を行っていただきました。

出演者、出展者、出店者の実行委員の方々には、臨時駐車場として開放した公津の杜小学校駐車場の案内のほか、終了後に備品の移動を含む片づけを行っていただきました。昨年度のご意見を反映し、色々改善されてはいるものの、新しい課題も見え、今回いただいたご意見を次回以降に活かしていきたいと思えます。(K)



会場巡りもりフェスキイズラリー



開会式直後から各階のクイズコーナーでは、お友だち同士やご家族連れなど、みなさんワイワイ相談したりしながらクイズラリーを楽しまれていました。

抽選会開始の時刻が近づくと、1階ロビーには続々と参加者が集まり、2階の回廊からご覧になる方の姿も見られました。さあ、ワクワクドキドキの発表の瞬間です！当選番号を読み上げるたびに歓声が上がり、番号を呼ばれた方は驚きつつもステージへ。公津の杜小学校公認キャラクター『もりもりくん & もりもりちゃん』から、お買物券や図書券、お米などの賞品を受け取ると素敵な笑顔を見せてくれました。いよいよラストは国内線無料往復航空ペアチケット！こちらはスプリングジャパン客室乗務員の今野様が会場の期待が高まる中、抽選とプレゼンターを務め下さり、より一層盛り上がりました。

さらにサプライズとして、来館者200万人突破記念賞を当選された方に贈呈し、最高潮を迎え閉幕となりました。各企業様からのご協賛とご支援のおかげをもちまして今年も大盛況となりましたこと、心より感謝申し上げます。次回も多くの方に喜んでいただける企画を考えて参りますので、どうぞお楽しみに！！(G)

景品提供

SPRING JAPAN

京成公津の杜駅前
shopping park
your ELM
ユアエルム成田

北須賀直売所

まこも

Bb
BIBI BOUTIQUE
公津商店会

台方ラーメン

ACTIO

公津の杜コミュニティセンター
(指定管理者 アクティオ株式会社)
発行人: 竹尾 裕之 編集: 鹿嶋 聡明
〒286-0048 千葉県成田市公津の杜4丁目8番地
TEL: 0476-27-5252 FAX: 0476-27-5353
E-mail: info-kozu@morinpiakozu.jp HP: <http://morinpiakozu.jp/>

もりんぴあ
こうづ
MorinpiaKozu